



鍛冶職人の技 感嘆

製造業志す研修生が体験

与板地域

越後与板打刃物の産地、長岡市与板地域でこのほど、製造業への就職を目指す研修生10人が鍛冶体験をした。鍛冶職人から教わりながら、切り出し小刀を製作。熟練した職人技に触れ、物作りへの意欲を高めた。

市の研修の一環。研修生は12月までの約5カ月間、市内の鉄工関係の事業所で研修を積んでいく。今回は市の伝統産業を学んでもらおうと、1日体験を実施した。研修生は地金に鋼を付け、ハンマーでたたき

製造業を志望する人たちが職人の技を学んだ鍛冶体験
―長岡市与板地域

程などを学んだ。

職人から「力を入れてゆっくり」となどとアドバイスを受けながら、真っ赤に熱した刃物をたたいては何度も厚さを確認。夢中になって作業に励んだ。

研修生の今井翔平さん(22)は「すべて手作業で均等な厚さにしたり、目で見て判断したり、すぐにはできない職人技だと思っただ」と感嘆。

指導した職人の河野裕さん(69)は「何か一つでもヒントを得て、自分の仕事に生かしてもらえれば」とエールを送った。